

広島、廿日市市の 文化の魅力を 世界に発信していきます



左の2次元コードを読み込むと伴谷晃二さんのインタビュー動画を見る
ことができます(8月1日㈬～)。
ぜひご覧ください。



伴谷さんが創作した「神楽」と「オーケストラ」の協演。今年は、8月18日(土)と19日(日)にJMSアステールプラザで開かれます。

一地域の亡くなつた人々への
鎮魂の意を起源とする伝統神楽。
その形や役割は、時代の流れと
ともに多様化しながら、今なお
県民の共有文化として地域に根
付いています。ひろしま神楽の
卓越した文化力、その素晴らし

阿品台在住の作曲家、伴谷晃二さん。ヒロシマ・ミュージック・プロジェクトの代表を務め、市内外で音楽公演を中心にさまざまな文化活動に取り組んでいます。

■新しい形の神楽

さを国内外に発信していきた
い」と伴谷さんは新しい神楽を
創作しました。

地元の神楽団と協演するのは
中国四国地方で唯一のプロオーケストラである広島交響楽団。
「音楽に平和への願いを込め
る秋山和慶指揮／広島交響楽団
とのコラボは、被爆地ヒロシマ
からの『平和へのメッセージ』
も込めています」と伴谷さんは
話します。

■ 東京五輪から世界に

「この取り組みを、2020年東京オリンピックにつなげたい」と展望を語る伴谷さん。今年の8月に広島で行われる公演を出発点とし、来年は東京

での公演を予定しています。
そして2020年には、東京を中心に、世界に向けて広島文化を発信する3年計画を立てています。2020年以降を見据えたレガシー（遺産）創出のための文化プログラムとして、国際的「beyond 2020 プログラム」の認証も受けました。「この機会に広島、廿日市市の文化の魅力を世界に発信していきます。そして、国内外からの観光客の誘致につなげていきたいです。廿日市市には共有でかかる文化財産がたくさんあります。それらを多くの人に見てもみたいし、体験してもらいたいです」と伴谷さんは笑顔で話してくれました。

廿日市市で輝く人を紹介します

とも たに こう じ
伴谷 晃二 さん

はつかいち人 vol.31

作曲家・エリザベト音楽大学名誉教授
ヒロシマ・ミュージック・プロジェクト(※)代表

※広島の音楽家を中心に組織された団体。「多文化社会と共生」を理念に、県内外の文化・芸術の振興と生涯学習への貢献を目的に、音楽公演を中心としたさまざまな文化・教育活動を展開している

人のうごき

前月比

総人口	117,430人	(-64)
男	56,423人	(-33)
女	61,007人	(-31)
世帯	51,770世帯	(+3)

(平成30年3月1日現在　外国人を含む)

連日、7月豪雨による被災地の状況を耳にするたび、心が痛みます。避難勧告が出て初めて、水や非常食を準備し、災害はいつ起るか分からないと、分かつてはいるようですが分かつていなかつたと痛感しました。「その時」に、何を選択するのか、自分で「考動」しなければなりません。被災地の支援とともに、今一度日頃の備えを確認しましょう。

澁谷 里香

「この度の豪雨で実家が被災したため、週末に帰省しました。家族と母屋は無事でしたが、青々と茂っていた田畠は赤土で埋まり、納屋や自家用車などは押し潰されていました。土砂は堆肥のような臭いがすることや、乾いた土埃で花粉症のような症状が出ることなど、実際に体験して初めて分かることもあります。日常に戻るには時間がかかるだろうと身をもつて感じました。 田坂 尚子

編集後記

連日、7月豪雨による被災地の状況を耳にするたび、心が痛みます。

避難勧告が出て初めて、水や非常食を準備へ、災害はいつ起るか分か

阿品台在住の作曲家、伴谷晃二さん。ヒロシマ・ミュージック・プロジェクトの代表を務め、市内外で音楽公演を中心にさまざまな文化活動に取り組んでいます。

さを国内外に発信していきた
い」と伴谷さんは新しい神楽を
創作しました。

での公演を予定しています。
そして2020年には、東京
を中心に、世界に向けて広島文
化を発信する3年計画を立てて
います。2020年以降を見据
えたレガシー（遺産）創出のた
めの文部科学省による「文化政策
研究会」に参画して、日本文化
の国際化に貢献していきたいと
思っています。